

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成31年 **1**月の**安らぎ**通信

目次

- (1)  南海トラフ「半割れ」1週間避難 混乱回避の備え欠かせず
- (2)  非常時「災害モード宣言」 大阪市、北部地震受け導入

(1) 南海トラフ「半割れ」1週間避難

混乱回避の備え欠かせず

- ・政府は南海トラフ震源域で異常が確認された場合、数分以内に「調査開始」の第一報を流すことにしています。
- ・調査で地震の可能性が高まったと判断すれば、最短2時間で「発生可能性が高まった」とする臨時情報を流します。
- ・異常現象のうち、特に震源域の東西のどちらか半分でマグニチュード8級の大規模な地震が先に起きる「半割れケース」の危険性を重視。

中央防災会議方針 南海トラフ巨大地震の報告書案のポイント

- | |
|--|
| ・「半割れ」は被害がなくても一部地域で全住民避難。その他の地域は自主避難。 |
| ・「一部割れ」は自主避難 |
| ・「ゆっくりすべり」は備えを再確認。 |
| ・避難や警戒は1週間程度で、「半割れ」はさらに1週間警戒 |
| ・「一部割れ」：震源域の一部で巨大地震の前震と疑われるM7級の揺れを観測。 |
| ・「ゆっくりすべり」：住民が揺れを感じないプレート境界面で地殻変動が起きる。 |

(2018年12月12日 日本経済新聞より抜粋・引用)



テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2

(2)  非常時「災害モード宣言」

大阪市、北部地震受け導入 外出抑制を呼びかけ

- ・ 大阪市は、地震や台風など大規模災害時に非常事態を呼びかける「災害モード宣言」導入を決め、運用を開始。
- ・ 市民に不要不急の外出を控えてもらうほか、民間企業に対しても社員の出勤や帰宅の抑制を促し混乱を回避します。
- ・ 宣言は震度5弱以上の地震や津波の発生、台風の接近が予測されるときなどに出します。
- ・ SNSや市のホームページなどを通じて伝達します。

(2018年12月21日 日本経済新聞より抜粋・引用)

